

令和5・6年度指定研究事業二年次研究発表会 アンケート集計

1. 別府市立朝日小学校 PTA

大変参考になった…104名	参考になった…80名
あまり参考にならなかった…2名	未回答…3名

【感想】

- 保護者の意見を聞きながら改革することが大切だと発表を聞いて思いました。
会員の意見を聞いて活動の見直しをしている点が良かった。
- 時代に応じてPTAの形を改善していくことを課題としているのはすばらしい。歴史もあり時代に合ったPTA活動を考えられての今だと思います。
- 活動支援部としてサポートを募ること、とても参考になりました。執行部やPTA役員以外でも協力頂けることで敷居は低くなり「何か子供たちのために」という気持ちも拾いやすいのだと思いました。
- 毎日の校内清掃が当たり前だと思っていたので、子供の掃除が週2回しかないことに大変驚きました。（13名）運動会の場所決めの細かい作業やくじ引き導入等、大変参考になるものが多くPTA会員もすごく協力的だと思いました。
- 実践活動として運動会の会場設営の事前準備、愛校作業のトイレ掃除など生徒たちのためにPTAが一生懸命取り組まれていることが良く分かり、いい活動が出来ていると思いました。ベルマークに対するPTAの考え方など私達のPTAと同じ課題に対する取り組みを知ることが出来て良かったです。
- 時代に合った活動、なかなかPTA会員の継続も難しくなっている中、協力しながら活動が出来ている。愛校作業も、トイレ掃除はどの学校も1番悩みだと思うので参考になりました。
- 各活動への取り組み方や協力呼びかけに工夫があり、現状を確認した上で各家庭が活動しやすくなった様子が伺えました。特に「愛校作業」では学校生活を送る子供たちのためにとても素晴らしい活動だと思いました。ちょうどトイレを使用した時に清掃状況に疑問を持っていたので、ぜひ参考し実践したいと思います。親も子供も愛校心を持つことが大切だと思いました。
- 全会員が参加できる活動支援部はとてもユニークで合理的な方法だと思いました。専門部だけの活動でなく専門部に所属していない会員も出来るときに出来る人が自分の意思で参加することが可能になるので、まさにこれからのPTA活動の在り方を示す発表で大いに参考になりました。一部、二部制も参加しやすいアイデアとしてとても良いと思います。学校作業に対して子供たちの感想が知りたいです。児童会とのタイアップがあれば、さらに学校・児童のニーズが反映されると思います。PTAの新しい在り方としては学校や地域との連携がありますが子供たちの自活組織としての児童会との連携を模索してはどうでしょうか？ 児童会執行部とPTA執行部とで定期的に意見交換する場をもつとよいと思います。

- 校内清掃の件、市の学校の状況を確認してみようと思います。津久見中学校のテーマも「出来ることを出来るときに出来る人が」です。朝日小学校さんはそれに加えて「一人に負担をかけない」とありました。同じ顔ぶればかりの参加者になることが多いのでとても響きました。紙媒体の方が、提出率が高いというところも共感できました。
- わかりやすく良かったです。会員へのアンケートがあることは自分も会員で同じところに入れてということがいいなと思いました。
- 先日、ベルマーク作業を行ったがとても大変でした。収益とかかる時間を考えた時に廃止という選択肢があることに気付かされました。愛校作業も検討したいと思います。
- 各専門部を整理してボランティア部「活動支援部」の創設等、組織改前と内容の見直し等、未来のPTAにとって大いに参考になりました。
- 本校でも専門部を今後、どうするか？加入届をどうするかというところにいるので参考にさせてもらえたらと思っています。
- 児童数、世帯数が多い学校、いろいろ大変なことも多い中で素晴らしい活動をされていると思いました。会長中心に執行部に活気がある朝日小学校PTA！応援しています！
- 学校での清掃は大変だと思いましたが、支持を得られる活動だと思いました。
- OPTA活動の「負担」とは何か、今後考えていく必要性を感じました。まずは見える化、説明と同意、これらのプロセスは今の活動に求められることかと考えます。
- 課題を把握して効率的な活動をしていることに感銘を受けました。
- 改革はすごく大変だと思いますが、保護者の事をよく考えスリム化されているなと感じました。
- コロナの時にトイレ掃除を子供たちがしていなかったことを知りびっくりしました。学力のために学校の掃除の時間が毎日でないことにもびっくりしました。
- ベルマーク活動の廃止の流れが参考になりました。
- 当校でも専門部の縮小を考えています。活動支援部とても良いと感じました。
- 学校規模によって状況が違うと思うが、今まで通りでなく現状をしっかり分析しよりよい状況に変革していこうとする姿勢に感心しました。本校でも見習っていきたいと思います。
- やりたい活動に変えたというお話、とても良かったです。出来るときに出来る人が出来ることを行い、「一人に負担をかけない！」大切です。持ち帰り、やってみようと思いました。（2名）
- 児童数が多い学校の取り組みが知れて勉強になりました。参考になった内容をぜひ役員と共有していきたいと思います。
- トイレ掃除を保護者が助けている状況に驚きました。学校と保護者が子供たちをどう捉えるかが大事だと思いました。
- 子供にどう育てほしいのか、そのためにはどんな学校であるべきか、価値観が多様化しているので難しいですが、しっかり考えたいと思います。
- OPTA活動の方針について会員に丁寧なアンケートを取っていて組織としてしっかりしていると思いました。
- 別府市全体で学校が汚い状況が減るといいですね。
- 学校行事にてフィルター掃除や扇風機の清掃を行っていることに感心しました。わが校でも清掃の行き届いていないと感ずることがありPTA活動の一環として行うという気付きになりました。

- また読み聞かせを活用して子供たちに防災教育等をして面白いのではないかと感じました。
- 執行部、学年部、専門部、横並びの役員会組織となっているのがとても良いと思いました。「出来るときに、出来る人が、出来る活動を行う」という考えは同感で自分自身もその考え方で活動を行っています。
- 活動支援部の設置により役員さん及び負荷が減ることは良いことだと思います。ただ活動支援部のメンバーも偏りが出るのでは？と思いました。
- 大規模校ながら会員の参加率が多いのに驚いた。皆さんの気持ちが一つ同じところに向かってるのが話を聞いて感じました。
- わが校ではどうなのかすぐ子供に確認した。「校内の衛生面は守られていて当然」ではないのだと参考になりました。
- 紙アンケートやQRコードを利用した協力を募るというのも役員さん以外の参加も出来てよい方法だと思った。
- これから保護者が子供に仕方などを教えることによって保護者のお手伝いがだんだん減っていくといいですね。
- 貴校のPTA 活動内容が分かりやすくまとめられていて、パワポの資料も見やすかったです。
- 活動が充実し部会もたくさんあり協力してくれる保護者もたくさんいて羨ましいの一言です。募集を二部制にすること、学校のニーズに合わせて活動をするという内容は保護者の参加に繋がりがやすいなと思いました。
- 時代に合ったPTA 活動とは何か？を考えながら役員数や負担を少なくする取り組みをされていて参考になりました。（3名）
- 時代の変化を受け止め、時代に合った活動方法を考え実行していることは参考になった。
- 「活動支援部」の活動が良いと感じた。ネーミングも自発的な活動を印象づけるととても素敵だと感じました。 1 1
- 「この指とまれ」方式では参加者に偏りが出ることを恐れてなかなか実施に踏み込めなかったが、話しを聞き、PTA 活動の必要性を理解してもらうことで、多くの保護者に協力してもらうことは可能なのだと、少し明るい希望が見えたような気がします。
- 「出来る人が出来ることを」1 番大切なことだと思います。嫌々ながら無理してもらっても内容の質の低下などあり次に引き継ぐ時もその状態で引き継がれても困りが生じることもあるので、できないならやれないでも質の良い状態で引き継ぐのがいいのではないかなと思った。
- 全PTA 会員にアンケートをとってみたことで得られた気付きなど、どこの単位PTA にも共通する事例が参考になった。
- 私は中学校のPTA 執行部ですが、小学校は実際に手を出さなければ行き届かない事柄が多いことを感じました。中学校はほとんど経済的な支援が大部分を占めるのでその違いを理解できてよかった。
- エアコン清掃などの取り組みは良いなと思った。愛校作業の大切さを感じました。
- 退会届の導入を検討中で参考になりました。
- QRコードを取り入れてPTA 会員への呼びかけなどが、昨今の電子化の取り組みが行われていて良いと思いました。 2

- ▲親がトイレ掃除を行い、きれいになったのを子供たちに仕方やきれいな状態の維持を子供たちに伝えていますか？親が掃除の仕方を教えていかないと、親がやってくれるから子供は何もしなくなるのでは？ほうきで少し掃くぐらいしかできない（しない）のでは？（2名）
- ▲フィルターや手の届かない場所の掃除を保護者がするのは理解できるが自分たちが使うところをきれいに保つという意識が低くなるのでは？と少し心配になりました。
- ▲トイレの掃除がやはり気になる。学力よりも掃除等の人間力を育てていく方が良いと思う。小学生なら特にそう思う。
- ▲愛校作業でトイレ掃除をしているそうだが、30分の予定で2時間かかったみたいだが、なぜそこまで汚れるほど放置していたのか？子供が汚したら子供たちに掃除をさせるべきではないか。
- ▲学校設備の保全は自治体の役割では？と思いました。
- ▲トイレ清掃を子供たちは行っていないのか？勉強の時間を優先することは理解できますが、少し疑問に思います。トイレは毎日使うところで環境が汚いことの衛生面に不安があります。自分たちが使って汚したら自分で清掃することはしつけが大事で学ぶことにもなると思います。「愛校活動」で保護者が清掃することは少しやりすぎではないでしょうか。
- ▲「この指止まれ」は大変良いことだと思うが、あくまで大規模のPTAじゃないと当てはまらないような気がする。小規模のPTAだと誰も集まらないかもしれない。
- ▲時代が変わっていく中で、PTA活動も変わっていかなければなりません、専門部の廃止等あるものをなくしてしまって、再び立ち上げようとする時は大変だろうなと思いました。
- ▲質疑応答で回答を簡潔にしてほしい。
- ▲冊子に載っていない写真や組織図も参考資料として後ろに添付してもらえるとありがたいです。

【質問】

- PTA活動をやりたい活動へ変革するための「この指とまれ」方式も素晴らしいと思いました。一方、自主性を求めることになるので「一人に負担をかけない」課題に相反するのかと思いました。全員参加のためにどんな工夫をしているのでしょうか？
- PTA役員の選出はどうしているのか？地区ごとに〇人と強制なのかとも感じました。やはり強制しないとできない今の保護者を残念に思う。
- 校内に児童クラブがらつあるということがすごいです。立地問題もあると思いますが、放課後の生徒は安心すると感じました。運営は別だと思いますが、校舎内にあるのか？区切りなどの件が気になりました。
- PTA会員の児童と非会員の児童のPTA活動の関わり方の差別化はどうされていますか？
（安芸中は差別化なし）
- 役員さんがとても多いので連携をとるのが難しそうと感じましたが、役員会や学部長の集まる頻度をお聞きしたかったです。